



桃山学院大学
St. Andrew's University

2023年2月16日

報道関係各社 御中

桃山学院大学
「アトツギ入試制度」を新設
全国各地の中小企業・小規模事業者の後継者を育成
「起業部」も新設
ビジネスプランの実装を加速させ、学生の起業も支援
2月17日（金）13:00-17:00
第17回ビジネスプランコンテストを開催

【本件ポイント】

- ◎日本における開業率は2019年時点で4.2%と、欧米諸国と比較して低水準となっており、日本政府は成長投資分野としてスタートアップなどに向けて積極的投資を促しています。また、後継者不在に伴う『後継者難』倒産は社会課題のひとつとなっています。
- ◎2019年度にスタートしたビジネスデザイン（BD）学部は、「学生×企業人」のチームでの学びを含め、ビジネスを通じて新しい価値を生み出し、社会課題の解決に貢献できる人を育成しており、事業承継者の育成も教育目標に掲げています。
- ◎このたび、BD学部では**次年度の新しい入試制度として「アトツギ入試」**を設け、商圏の大きな大阪でビジネスを学び、事業承継に生かしたいと考えている人を募集します。近畿はもちろん、全国各地の中小企業・小規模事業者の後継者の育成に寄与します。
- ◎また、本学では、**学生のビジネスプランを提案止まりではなく、実装し、実現するための支援体制を確立するため「起業部」**を開設します。
- ◎**2月17日（金）、あべのBDL（ビジネスデザイン・ラボ）において、第17回 桃山学院大学ビジネスプランコンテストの本選を実施します。**



起業支援（イメージ）



ビジネスプランコンテスト（イメージ）

【本文】

日本における開業率は2019年時点において4.2%であり、13.5%の英国や9.1%の米国などと比較して低水準となっています（中小企業庁「2021年度 小規模企業白書」参照）※1。日本政府は、国内での成長投資分野拡大にむけて、スタートアップなどの分野へ積極的投資を促しています。

また、東京商工リサーチの調査では、2021年度の後継者不在に伴う『後継者難』倒産は404件（前年度比13.8%増）で、4年連続で前年度を上回り、調査を開始した2013年度以降では初めて400件台となりました。※2

桃山学院大学（大阪府和泉市、学長：中野瑞彦、2022年5月1日時点：学生数6,727人）では、1959年の開学以降、「キリスト教精神に基づく世界の市民の養成」を目指し国内外を問わず、様々な社会課題に対して自らの体験や経験を通じて深く考え、強く乗り越えていける力を養成し、これまでに起業家精神をもった卒業生を多く輩出してきました。2020年の帝国データバンクの調査によると、近畿2府4県に本社を置く（個人、非営利、公益法人等除く）の社長出身大学ランキングでは、本学は京都大学に次いで14位となっています（帝国データバンク「近畿地区社長出身大学分析2020」参照）※3。

2019年に学科として設置し、2021年には学部となったBD学部では、「学生×企業人」のチームでの学びも含めて、ビジネスを通じて新しい価値を生み出し、社会課題の解決に貢献する人材を育成しています。

この度、本学では、BD学部における総合型推薦（専願）、総合型推薦（併願全期）の新しい入試制度として「アトツギ入試」を設けます。近畿、地方の家業が自営業である高校生、または、事業承継を志望する高校生を対象として、募集人員を20名とします。このような取り組みにより、全国各地の中小企業・小規模事業者の後継者育成に寄与し、先代から受け継ぐ経営資源を活用して、新しいビジネスを創出する人を育成し、後継者不在等の社会課題解決に貢献します。

また、入学後、学生のビジネスプランを提案止まりにするのではなく、実装し、実現するための支援体制を整えるため「起業部」を発足します。起業部では、本学の全学部の学生を対象に、新しいビジネスプランづくりから、実装および実装を加速させる支援を専門のスタッフがを行います。これまでの大学では学生の就活支援が主な進路支援となっていました。本学では起業部開設のもと、スタートアップや開業に向け、起業支援の体制も整えることにより、学生の進路の幅を拡大させていきます。

なお、2月17日（金）13:00から本学あべのBDL（ビジネスデザイン・ラボ）にて、全学部生を応募対象とするビジネスプランコンテストの最終審査会（本選）、起業部開設等に関する説明を行います。

【ビジネスプランコンテスト、起業部等に関する説明の詳細】

名 称：第17回 桃山学院大学ビジネスプランコンテスト（本選）

日 時：2023年2月17日（金）13:00-17:00 終了予定

実施場所：桃山学院大学あべのBDL（大阪府大阪市阿倍野区昭和町3丁目1-57）

主 催：桃山学院大学

協 力：近畿経済産業局、株式会社さかい新事業創造センター（S-Cube）、株式会社i-plug（アイプラグ）、ブルーブルーエジヤパン株式会社、大阪シティ信用金庫、UCC コーヒープロフェッショナル株式会社、株式会社レスタス、合同会社Kei、BABY JOB 株式会社、株式会社スポーツウィングス、他

タイムテーブル(予定)：

13:00-13:15 趣旨説明、あいさつ、審査員ご紹介

13:15-14:15 ビジネスプラン発表【チーム①から④】※各チーム10分の発表+5分の質疑応答

14:30-15:30 ビジネスプラン発表【チーム⑤から⑧】※各チーム10分の発表+5分の質疑応答

15:35-15:50 「起業部」の紹介

16:05-16:30 審査員講評

16:35-16:55 表彰

16:55- 学長あいさつ

本選出場者：予選を突破した8チーム（応募数：全39チーム）

発表内容：

- 【チーム①】 高齢者も町工場も元気に長生き！町工場から生じる廃材を用いて、高齢者施設向け玩具を創ります！アップサイクル・トイ・ビジネス「ToyFool（トイフール）」
- 【チーム②】 人事評価を公正に行い、仕事の割り振りのサポートをするシステム「Dide」
- 【チーム③】 Z世代のデジタルデトックス × 第一次産業の人手不足解消 = 「デジトツタル」（デジタルを取り除くの意）
- 【チーム④】 学生向け都市型短期住居住み放題サービス「tamesu 会」
- 【チーム⑤】 自分の歴史を探索！意外な発見でもっと魅力的に。「Fmap (For more attractive people)」
- 【チーム⑥】 生活に彩りを加える時間と空間を身近で提供し、映画の良さを広めます。映画を個室で楽しむ最新空間（muvi.muvi）
- 【チーム⑦】 駐輪時間を視覚化する専用の鍵アプリ「KeyPing」
- 【チーム⑧】 部活動のサポートアプリ Club Support

※1 中小企業庁 「2021 年度 小規模企業白書」

https://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/2021/chusho/bl_2_3.html

※2 東京商工リサーチ 『後継者難』倒産 年度最多の404件、「死亡」と「体調不良」で8割超（2021年度4-3月）

https://www.tsr-net.co.jp/news/analysis/20220422_01.html

※3 帝国データバンク 「近畿地区社長出身大学分析 2020」

https://www.tdb.co.jp/report/watching/press/pdf/s200802_58.pdf

以 上

【本件に関する問合せ】 〒594-1198 大阪府和泉市まなび野1-1 学校法人桃山学院 経営企画課 広報室

TEL 0725-92-7026 FAX 0725-54-3203 /E-mail koho09@andrew.ac.jp

※本リリースは、学校法人桃山学院経営企画課広報室が作成しています。内容等に関するご意見やご助言等、お待ちしております。